



北村 あや子 区政ニュース

6月会議 日本共産党区議団一般質問と区の答弁

6月23日～25日実施した各紙世論調査によると、政府のマイナンバーカード関連のトラブル対応について「日経」不十分が76%、「読売」適切に対応していると思わないが67%。国民の多数が不安に思っているのではないのでしょうか。日本共産党荒川区議団は6月会議の本会議質問でマイナンバーカードなどについて区の姿勢を問いました。

マイナンバーカードこのまま進んで大丈夫？

【質問】 保険証との一体化については読売新聞社説でも「身近な健康保険証を廃止しマイナンバーカードに一本化するのは無理」と論じています。全国保険医団体連合会は「マイナンバーカード保険証情報の誤登録には医療事故を招きかねない重大問題。国民の命と健康を軽視していると言わざるを得ない」と指摘。



国民健康保険の保険者である荒川区は、区民に国民健康保険証を発行・交付する「義務」があります。しかし、マイナンバーカードも保険証に代わる「資格確認書」も申請です。申請しなければ保険料を支払っていても、年金から天引きされていても「無保険」となり医療費10割負担になりかねません。

特養など施設の入所者など健康保険証の管理が難しい場合、施設側が預かって医療機関の受診をしていますが、保険証が廃止されたらマイナンバーカードと暗証番号も管理することなど個人情報の観点からも出来ません。誰でもいつでもどこでも医療にかかる、国民皆保険制度が根底から崩れてしまうと思うのが区の見解は？

【答弁】 事務手続きの削減されるメリットがある。マイナンバーカードは区内約7割が持っているし、保険証の廃止後は本人からの求めに応じて資格確認書を交付する。国の動向を注視し適切な対応に努める。

→制度の根底が崩れることへの認識がありません。区民のいのち健康を守る責任を認識してほしいです。

義務教育費の保護者負担を0に！

【質問】 教育委員会として、算数セットや鍵盤ハーモニカなどは学校備品として購入出来るものを検討し来年度に予算化を

【答弁】 公費又は保護者負担とすべき教材教具について適切に判断するとともに、都や他自治体の動向を注視し、各学校からも意見を聞き取り、保護者負担軽減を図る。

→「給食食材費は保護者負担が当然」が無償化になりました。「チョークや画用紙等の消耗品・実験器具や調理器具などの備品は学校予算」「笛や絵具などは、利益が個人に還元するものは保護者負担」の考え方を改めてほしい。義務教育は本来無償です。



マイナポータルから収集可能な情報の一部

世帯	●世帯の属性の情報 ※氏名、性別、生年月日、住所の4情報は、中間サーバーでは情報連携しない仕組み
地方税	●住民税の所得情報、賦課年度
健康・医療	●医療保険の資格・給付情報(保険者名、資格適用開始日、高額療養費限度額等) ●予防接種の情報(実施自治体、ワクチン情報、実施日等) ●乳幼児健診、妊婦健診の情報(実施自治体、実施日、健診結果等) ※特定健診情報:2021年10月(2020年実施分以降) ※がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診の情報:2022年度に連携開始予定
子育て	●児童手当、児童扶養手当、母子父子寡婦法の給付金等の情報(認定区分、認定日、支給額等) ●母子保健法による妊娠の届出情報 ●高等学校等就学支援金に関する情報 ●児童福祉法による小児慢性特定疾病医療費、療育給付、障害児入所給付費等の支給の情報
福祉・介護	●身体障害者福祉法による身体障害者手帳、精神障害者福祉法による精神障害者手帳等の情報 ●知的障害者福祉法による知的障害者の情報 ※療育手帳の情報は2022年2月から追加 ●生活保護の実施に関する情報 ●介護保険の資格・給付情報(自治体、資格適用開始日、高額介護費等)
雇用・年金	●雇用保険給付、労災補償保険給付、職業訓練給付金の支給に関する情報 ●公的年金給付の支給に関する情報

※内閣府番号制度推進室提供資料



区立宮前公園第三期整備計画が公表されました

6月30日の建設環境委員会で宮前公園第三期整備計画素案が報告されました。

文化創造、子育て教育、生涯健康、安全安心を整備方針とし、約1.3haを2027年まで整備工事を行う予定です。地域的に無かった水あそびエリア、身体が不自由な方も一緒に遊べるインクルーシブ遊具に加え、ランドマークであった「ひこうき」遊具も設置予定です。

公園利用者が宮ノ前電停から商店会を通る動線【今後の予定】

2023～2024年 建物撤去工事、土壌汚染対策工事、公園施設建設
 2024～2027年 公園整備工事、大屋根・回廊工事、深井戸・永久水利施設工事、トイレその他建物整備工事

どうなるの？令和あらかわクリニック

令和あらかわ病院が今年4月1日に開院、クリニックは3月28日から一時閉院となっています。社会医療法人財団正志会に荒川区が建物を貸してクリニックを運営することになっています。当初は、改修後にクリニックを再開する予定でしたが、クリニック地下階の水漏れが激しく、建て替えも検討しているとのこと。地下階の様子を再確認して区としても結論を出すとのこと。建築費用は正志会が出すと言っているようです。解体費用は建物の所有者である区が持つことになるのでしょうか。詳細が分かり次第、改めてご報告します。

目立たせることも必要ではないでしょうか。無電柱化工事と合わせて整備するようですが、早い段階での対応を求めます。

住民説明会を近日中に行う予定とのことです。日程など決まりましたらお知らせします。



なつかしの「ひこうき遊具」

デマンド交通の実証運行スタート

廃止になったコミュニティバス「町屋さくら」ルートの一部(清掃事務所前・都営住宅前・尾竹橋通り西・荒木田東・児童遊園前・町屋駅前)で、予約に応じた乗合タクシーを試験運行しています。平日の日中だけの運行、シルバーパスも使えない…。ご意見をお寄せください。

期間:7月3日～2024年3月29日
 (午前10時～午後3時)

土日祝日は行いません

料金:中学生以上300円、小学生150円
 シルバーパスは使えません

町屋デマンドセンター:050-2017-3950

○宮前公園(三期)整備計画・アクセス計画図(案)

